

さいたま市議会議員

阪本 かつみ 市議会レポート

【2011. 10月号】

編集・発行：民主党さいたま市議団 阪本かつみ

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、
一日も早い復興をお祈りいたします。

9月定例会 10月21日 閉会！

9月7日に開会した9月定例会も、常任委員会や予算委員会、決算・行政評価特別委員会での議案審査を終え、いよいよ10月21日に最終日を迎えることとなりました。

契約議案の一つには、旧クリーンセンター与野（中央区上峰 1-13-1）解体撤去工事請負契約がございます。以前、この施設の敷地からは基準値を超えるダイオキシンが検出されており、現在一時的にアスファルト舗装により飛散防止を行っておりますが、最終的な処分については解体工事時に行うこととしております。

今後、市担当者より近隣住民の皆様には丁寧かつ十分な説明が行われると思いますが、私からも、市民の安全・安心に十分に配慮して事業を進めることを求めています。



さいたま市議会議員

阪本 かつみ

まちづくり委員会 委員長

議会運営委員会 委員

地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 副委員長

スマートホーム実証実験が桜区行われます

HONDA がさいたま市の考える災害に強いエネルギーの自給自足、EVを動く蓄電池として活用できる家を3軒（ショールーム1軒・データ取得用2軒）を整備し、技術や仕組みを協働で進める。

さいたま市は、実証実験期間中、市が保有する未利用地を無償で HONDA に貸し付け、建物の建築やライフライン整備や保守などは HONDA が負担して行なう。実際に HONDA の社員が入居するようだ。

実証実験期間は来年の春ごろから平成29年度まで。

場所 さいたま市桜区大字上大久保
（埼大通りR463沿い 埼大前交差点付近）

阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみオフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

平成 24 年度予算編成方針

さいたま市の財政状況及び今後の財政見通し

平成 21 年度決算で前年度から約 50 億円の減収となった市税収入は、平成 22 年度決算でもほぼ横ばいに推移し、平成 23 年度においても東日本大震災の影響等により大幅な回復は見込めず、財政状況は依然厳しい状況です。

中期財政収支見通しにおいても、本市の歳入の根幹をなす市税収入は引き続き低調に推移する一方、歳出においては社会保障費や都市基盤整備のための行政需要が拡大する見通しであり、平成 24 年度は約 245 億円の財政不足額が見込まれています。

予算編成の基本方針

「更なるしあわせを実感できるまちの実現に向けた予算」

予算編成過程においては、限られた財源をいかに効率よく効果的な事業に配分していくか、さらには事業の選択と事業の優先順位付けをどのようにおこなったかなど、意思決定の過程を積極的に公表し、情報公開日本一を目指していくこととします。

具体的内容

1) 行財政改革 ～行財政改革の総仕上げの年～

- ・ 改革を各所管局が主体的かつ責任も持って実行し、限られた財源の範囲内で各局が主体と成って予算を編成する、「局長マネジメント予算編成」を推進
- ・ 前年度一般財源に対し5%シーリングを実施
- ・ 「行財政改革推進プラン 2010」の着実な実行

2) しあわせを実感できる事業の重点化

- ・ 「しあわせ倍増プラン 2009」の達成
- ・ 「総合振興計画新実施計画」事業の推進
- ・ 「防災、環境・エネルギー対策」、「高齢者施策」、「子育て支援」を重点分野とし、優先的に財源を配分する

3) 市民の声・現場の声を反映した「市民生活重視」の予算編成

市民・事業者との協働を強化し、「市民力」を結集した施策の展開

4) 普通建設事業費の抑制 ⇒ 臨時的な建設事業費を徹底精査

5) 歳入の的確な確保及び新たな財源の創出

- ・ 税負担の公平性の観点から、収納率の向上に向けた取組みの強化
- ・ 私有財産の有効活用や広告事業の一層の拡充